

情報ステーション しろやま



「城山クリーンアップ2005」 に寄せて



城山地区コミュニティ協議会長 大柿 正人

城山中学校生徒会の発案により、大谷・多気地区の清掃活動が一昨年から実施されました。まず、中学生からコミュニティ協議会への協力依頼があり、これが起爆剤となって、広く会議を持ち、賛同を得、より具体化した計画と運営の基に、共催事業として平成17年8月7日に第1回目の活動を実施しました。

真夏の厳しい暑さにもめげず、生徒会をはじめ、職員・PTAに小学生も参加してくれました。当協議会では各団体の役員、特に交通安全推進協議会や食生活改善推進員協議会等の多くの皆様が参加され、各分野で活躍してくださいました。

また、連合自治会もこの事業に合わせて地区全体を「きれいなまち」にしようと、各自治会長さんの働きかけで、多数の方が清掃活動に参加、協力してくれました。

参加された方々は、きれいになった場所や道路などを見て、清々しい気持ちを持ったり、満足感を味わうことができたと思います。

このように、中学生の発案が地域の人々の心を動かし、大同団結して実践し、目的を果たせたことは、誠に素晴らしいことだと称賛すると同時に、感謝申し上げます。

今、「地域でできることは地域で」ということが提唱されています。何事行政依存ではなく、私たち自身が、地域の課題をみつけ、それを解決するために自助努力をしなければならないということだと思います。

観光都市大谷を中心に、周辺の自然環境や道路の整備等とともに、清掃活動に力を入れ、「きれいな城山」を構築していければ、訪れる方々にも好感が持たれると考えます。

そのために、自治体や関係機関との連携、さらには地区住民の意識の高揚と具体的な取組みを図ることが重要であると考え、今後さらなる努力を期待して止みません。



市長を囲み「まちづくり懇談会」が開催されました



平成17年度第14回まちづくり懇談会が11月24日(木)に、城山地区市民センターにおいて開催されました。

会場には、夜にもかかわらず100名近い参加者が集まり、地域代表としてコミュニティ協議会の大柿会長の挨拶に続いて、市長の挨拶、その後、地域からの2つの提言と自由討議が行われました。

身近な問題について活発な意見交換が行われ、参加者も真剣に耳を傾け、地域の発展を願う気持ちが一つになって矢の如く2時間が過ぎてしまいました。

●地域からの提言

- ①城山地区住民による美しいまちづくりについて
- ②郷土のえき「アグリ広場しろやま」について

●自由討議

- ①県道宇都宮・今市線の拡幅について
- ②ごみ問題への取組みについて
- ③パソコンの貸し出しについて
- ④小学校周辺の廃坑への埋め戻しについて
- ⑤市道の復旧について
- ⑥廃坑及び水質の調査について
- ⑦下荒針清掃工場の跡地利用について



今年も盛大！「城山地区文化祭・農業祭」



11月5日(土)、6日(日)の両日にわたり、城山地区文化祭・農業祭が、城山地区市民センターにおいて盛大に開催されました。

年に一度の地区最大のイベントであり、今年も新しい企画を取り入れての盛りだくさんの催しで、終日多くの来場者でにぎわいました。

特に今年は、プロのジャズ演奏もあり、聴く人々はすっかり魅了された様子でした。

作品部門やホール発表部門をはじめとし、屋内外の様々なコーナーには長蛇の列ができる盛況ぶりでした。

2日間ともすばらしい好天のもと、たいへん実りのある文化祭・農業祭になりました。



今日から大人の仲間入り！「城山中学校区成人式」

平成18年宇都宮市成人式城山中学校区が護国会館にて1月8日(日)に執り行われました。

当日の朝は大変冷え込みましたが晴天に恵まれ、希望に輝く目をした若人たちが集まり、あちこちで久しぶりに会う人たちの喚声が聞かれました。

式典には地元の役員をはじめ、新成人者在学当時の校長先生や担任の先生が来賓として出席し、激励の言葉やお祝いの言葉を頂きました。

城山中学校区成人式の出席率は毎年高く、本年は84%にもなりました。

式典はまず新成人者を代表して高秀光さんより郷土愛に燃えた力強い「誓いの言葉」があり、20

分程で終了いたしました。

続いて、宇都宮市成人式城山中学校区会場実施委員会主催による記念事業が行われました。新成人が卒業時の担任を囲みジュースでの乾杯に続き、入学式当時の様子から卒業までの歩みの様子がビデオ上映され、昔の思い出話に花を咲かせました。

また、同時に抽選会も行われ、プレゼントを手笑顔の新成人者達でありました。

この成人式を成功させるために城山中学校PTA会長及び地元各種団体役員並びに新成人代表による実施委員会の皆様、大変ご苦労さまでした。



不法投棄撲滅に向けて「不法投棄巡回パトロール」



宇都宮市では廃棄物の不法投棄が依然として絶えない状況ですが、特に、城山、国本地区においては不法投棄が多発していることから、不法投棄を未然に防止し、また不法投棄を地域で監視してよりよい環境を保っていくことを目的として、平成15年7月に「城山地区廃棄物不法投棄対策協議会」が設立されました。

協議会は、設立以降数回にわたって、不法投棄が多発している箇所の調査や廃棄物の撤去のための監視パトロールを実施し、不法投棄の防止に努めてきましたが、平成17年度は、9月に不法投棄多発箇所の調査を行い、10月2日(日)に不法投棄監視パトロールを実施しました。

当日は、自治会長16名、中央警察署員3名、市廃棄物対策課職員など13名が参加し、参加者全員が「不法投棄監視」の腕章をし、巡回車両には「不法投棄監視パトロール中」のステッカーを貼り、3班に分かれて不法投棄箇所を巡回、廃棄物の撤去に汗を流しました。

巡回終了後に行われた市廃棄物対策課との意見交換会では、不法投棄をされやすい箇所に柵を設けるなどの自衛策をとっていくことが効果的であり、今後、さらに地域と行政が協力しあい、知恵を出しあって、不法投棄撲滅のための努力をしていくことが必要であることを再確認しました。





子どもたちを守れ!

～城山地区の児童生徒の安全対策～

昨年末に起こった今市市での児童誘拐・殺害事件を始めとし、子どもを標的とした痛ましい事件が頻発し、新聞やテレビ等を賑わすという、憂慮すべき事態となっております。

そのような中、城山地区におきましては、地域ぐるみでの安全対策を強化するため、昨年12月20日に「城山地区児童生徒安全対策協議会」を発足いたしました。

現在、具体的な安全対策は、学校ごとの支部を中

心に行っておりますが、地区全体としても、下記のような重点事項を掲げ、取り組みを行っているところではあります。どうか今一度安全の確認をし、一人一人が日常生活の範囲内で実施可能なものにつきますは、率先して御協力くださいますようお願い申し上げます。

あのような犯罪を未然に防止し、子ども達の安全を確保するためには、地域をあげての取り組みが必要です。

1

目配り運動

買い物や散歩、玄関先の清掃などを、子ども達の下校時間（または登校時間）にあわせたり、子ども達の通る時間は仕事の手をちょっと休めたりして、周囲の安全確認などを行ってください。

2

あいさつ運動

同時に積極的に「おはよう」「こんにちは」「さようなら」などの日常的で簡単なあいさつから、声掛けをお願いします。

***また、不審者を発見したら、すぐに警察等に連絡をしてください。**

本市の取り組み

宇都宮市 生活安心課より ● ● ●



近年、全国的に治安が悪化している中、宇都宮市においても例外ではなく、子どもを標的とした犯罪や「空き巣」、「乗り物盗」、「ひったくり」などの市民の身近なところで発生する犯罪が増加し、多くの市民が犯罪被害に遭うのではと不安を抱いている状況にあります。

このような状況の中、市では、子どもに対する犯罪の未然防止のために、職員が通学路パトロールや青色回転灯装備車両によるパトロールを実施するとともに、携帯メールによる不審者情報の配信サービス、防犯活動マニュアルの作成、地域防犯活動リーダー養成講習会、ホームページでの地域自主防犯活動団体の事例の紹介など地域の自主的な活動の支援に努めています。

しかし、犯罪に遭うことなく、安全で安心して暮らすことのできるまちづくりを行うためには、何よりも地域住民が自分の地域は自分で守るといった「我がまち意識」をもって活動を展開していくことが大切です。

まずは、あいさつ・声かけ運動を行ったり、子どもの下校時間に合わせて散歩や買い物に行くなど、一人ひとりができるところから取り組んでみましょう。



地区内の各学校の取り組み

地区内各学校の
現在の取り組み状況を紹介します。

城山中学校

城山中学校の安全対策は、今市の事件の新聞報道のあった午前中（12月3日）の連絡網による安全徹底の連絡から始まり、次のことを行ってきました。

- ① 部活動短縮による明るいうちの帰宅
- ② 集団下校の徹底と最後に1人になる生徒の家庭と学校の、帰宅に関する共通理解
- ③ 教職員による下校指導と地区内巡視
- ④ 安全マップ作りなどによる生徒の安全意識の高揚
- ⑤ 防犯ベルの常時携帯
- ⑥ 保護者による帰宅時間の声かけや散歩による指導及び巡視
- ⑦ ステッカーや腕章の有効活用や各小学校区の安全会議への参加など、小中連携の強化による指導の充実



また、地域の方と児童生徒が顔見知りになることが事件の防止につながるということで、「あいさつ運動」の実施を城山地区連合自治会にお願いし、ご理解をいただいております。今後も、ご協力よろしくお願ひいたします。

城山中央小学校

城山地区コミュニティ協議会を中枢として発足した、城山中央小児童の安全確保に伴う活動状況について報告します。

- 「まごころサポーター」（下校時見守りボランティア）の募集を行い、保護者42名の他、各自治会、老人会の方にも多数ご登録をいただきました。
- スクールガードリーダーの指導で、不審者対応避難訓練を実施しました。
- 子どもの家（緊急避難的臨時預かり）の対応を運営委員会で話し合い決議されました。
- 防犯腕章・防犯パトロールステッカーを保護者、自治会、老人会、地域商店、教職員に配布し、活用が図られました。
- 毎月発行している「学校だより」の中に、安全確保のコーナーを設けました。また、自治会長さんを通して、地域に回覧しています。
- 「こども110番の家」の新規募集を行い、新たに25軒の家が登録をしていただきました。
- 戸室地区防犯灯設置について、一部、中央小でも新設経費負担をすることを、PTA役員会に図り、了承が得られました。



城山西小学校安全対策委員会

本校では、放課後は全員の児童が放課後活動施設「こがし桜スクール」を利用しています。午後7時までの開設の時間の中で、ほぼ全員が迎えを行っており、下校が一人になる児童がでた場合は職員が自宅まで送っています。地域では、中学生の4時から5時半の下校に合わせPTAの方々を始め自治会・老人会・地域の女性の会等が、巡回するようにしています。



子どもたちを守れ!



城山地区の児童・生徒の安全対策

城山東小学校



「地域の子どもたちは地域で育てよう」をスローガンに、子どもたちの安全を確保するため、学校・家庭・地域が連携し、長く継続して行うことができる活動をしようと城山東学区安全協議会を発足しました。

そこで、防犯ボランティアを募集し、子どもたちの登下校時刻に合わせて、危険箇所や少人数での登下校になる場所の立哨指導やパトロールをしたり、不審者・不審車両などに関する警察・学校への情報提供や学校・保護者・地域・市・警察のパトロール隊との情報交換をしたりする活動を始めました。

防犯ボランティアの皆様は、城山地区コミュニティ協議会の腕章を付けて活動しています。

学校は、「一人にならない集団下校の体制を作り、下校時間を守って下校させる。危険に遭遇した場合の具体的な対処法について学年に応じて繰り返し指導し、自分の命は自分で守る意識を育てる。一人の登下校になる場合に、迎えに來られない突然の事情が生じた場合は、学校で預かる。通学路における教職員の登下校指導を強化する」等の対策をとっています。

P T A (保護者) は、「集団登下校をした場合でも、一人の登下校になる場所までは、送り迎えをする。早退・遅刻・欠席・迎えに出來られない場合は、できるだけ早く、学校に連絡する。毎朝、防犯ブザーの携帯を確認する。」等の対策をとっています。

また、創立50周年記念実行委員会が、子ども110番の家の一覧表・地図の見直しをしました。親子防犯対策活動で、防犯看板標語の設置をしました。さらに、通学路における危険箇所のチェックと情報の共有化を図るための安全マップを作成しました。子どもたちと一緒に歩いて確認することで、子どもの目線・大人の目線でスキミングを図りながら危険箇所を確認し、季節や時間帯により通学路の状況が常に変まっていることを確認することができました。

明保小学校区の安全対策について(1月以降)

①学校は学年集団下校班で、必ず複数の学年が一緒に下校(校門を出る時刻を揃える)

- ・水曜日は、全学年の一斉下校で職員が途中まで付き添う。
- ・月火木金は、職員が交替で地区内をパトロール

②保護者は

- ・1、2年の保護者は、腕章を付けて、学校又は、一人になる所まで出迎える
- ・3年以上の保護者は、できるだけ可能な所まで出迎える。(希望者に腕章)
- ・自転車や車に、パトロール中の表示

③地域は自治会、老人会、育成会、ボランティア団体の実情に応じて、パトロールや立哨を実施

- ・月と金の1、2年だけの下校時は、特に強化して、学校からの同伴も実施



～城山地区の各種団体等の取り組みの様子～

敬老会

城山地区敬老会が、9月18日及び19日に城山地区市民センターや各自治会公民館など16会場で開催されました。

今年度の敬老該当の方は宇都宮市全体で32,673人でしたが、城山地区では、1,529人の方々をお祝いしました。



西駒生自治会会長 伊沢 廣己

自治会、民生委員、山吹会合同による手作りの敬老会を9月18日午前11時から西駒生自治会公民館で開催しました。西駒生自治会独自の敬老会開催は、平成17年度で3回目となります。

今年度は、招待者59名のうち23名の参加者をお迎えして、式典とアトラクションを実施しました。ビンゴゲームや健康体操、唱歌の合唱など、若き頃を思っ

て全員で遊び、歌い、楽しいひと時を過ごしました。また、山吹会の女性達が昼食として準備した手作り料理には、皆さん大喜びで和やかな宴となりました。最後に記念写真を撮り、来年も元気で全員が参加できますことを願いながら終了となりました。



老人クラブ

多数の仲間達が参加した趣味の作品展。私達の西の宮で第3回目が1月21日・22日の両日、自治会館で開かれました。

昨年12月上旬に町内の回覧板で知らされ、老人クラブ豊悠会の方々へも生きがいをもう一度と出展への協力依頼をしましたが、思うようではなく、更に1月中旬にめばしい仲間達に再度出展のお願いをした次第です。

出展者全体の数は66名の方で131点となり自治会館内一杯に展示されましたが、その中で豊悠会員の出展者は30名で51点の作品が出展されました。

その内容は多種多様な作品で、書、写真、陶芸、日光彫、日本画、シャドウBOX、押し花、ドライフラワー、紙細工、ペン字、絵手紙、刺繍、雛人形そして編み物など、比較的高齢者の作品が多く見られました。また、園芸クラブの七草の寄せ植えの鉢が、展示品の間に配置されて緑が会場を和ませていました。

この2日間の見学者は延べ160余名で大変盛況な催し物となりました。



西の宮豊悠会会長 菅谷 好次

「地区健康まつり」を開催！（健康づくり推進員会・食生活改善推進員協議会）



1月28日(土)に城山地区市民センターで第2回健康まつりを開催しました。

バランスボールやチャレンジランキング、竹馬、ゴムとび、

輪投げなどに人気が集まり、これら体を使った遊びを通して、日々の運動不足を解消するとともに、子どもの生活習慣病が増えているという現状の中での食生活や健康を見直すほんの小さなきっかけにもなったのでは、と思っています。

生活習慣病を予防するためには、十分な栄養と運動、休養が必要です。昨年メニューに取り入れたバランスボールは、会員が講習を受け、会員が指導者となって、地域の子どもの大人も参加者一同が体を動かす楽しさや爽快感を体験することができました。

体験コーナーの目玉として「野菜1日350g」を実際に量ってみました。葉もの、色どりの組み合わせに大変苦労した様子でしたが、会員の指導により、バランスの取れた350gを量ることが出来、参加者からは「ウワッなかなかむずかしいのね！でも、毎日のことだから大切だよ。来てよかった！」といった声がしきりでした。

食生活改善推進員・健康づくり推進員の会は地域の皆さんの健康づくりを一層進めるために、これからも健康まつりを継続して開催したいと考えています。



多くの方々の協力と参加をお待ちしています。
健康づくり推進員会・食生活改善推進員協議会

会長 細谷タミ子

体協からのお知らせ



平成16年8月に開設した「城山地区ホームページ」のイベント情報に、体協の年度行事予定や日程・試合結果・当日の様態など詳細な情報を掲載していますので、是非アクセスしてみてください。

試合結果については、今年度の結果だけでなく「平成15年度」からの記録を掲載しています。当日の様態も、専門部の部長さんの協力をいただき、皆さんのプレー写真を多く掲載しています。

是非ご覧ください。

これからもより多くの方が参加できますように情報を提供していきますので、ご意見等をホームページまでお寄せください。

城山地区体育協会 広瀬 忠徳

ホームページを見るには

宇都宮市のホームページ → コミュニティ・交流 → 地域ホームページ → 城山地区ホームページ

または、アドレス

<http://www2.ucatv.ne.jp/~shiro333/>

「防犯ポスター」ができました



宇都宮中央地区防犯協会城山支部主催の平成18年度防犯ポスターコンクールが開催され、コミュニティ協議会会長をはじめ10名の城山地区各代表の方々による厳正な審査の結果、次の方々が入選されました。

なお、最優秀賞の城山中学校2年加藤紗耶香さんの作品は、ポスターとして製作し地区の防犯に役立っています。

最優秀賞	城山中学校	2年	加藤 紗耶香さん
優秀賞	城山中学校	2年	大門 奈緒美さん
	〃	2年	矢口 真希さん
佳作	城山中学校	2年	野沢 愛梨さん
	〃	3年	菊池 詩乃さん
	〃	3年	金田 悠佳さん

3年に1度の「天祭」が行われました〈野尻・長坂自治会〉

「野尻・長坂地区「天祭」夏の宵を彩る」

野尻自治会長 大島 威二

自然・祖先・農業信仰の祭礼として当地に江戸期から伝承されている「天祭」の夏祭りが、昨年8月13・14日に野尻公民館脇広場で開催されました。

3年ごとの実施、しかも子ども達主役のお祭り、併せて地区内の方々楽しい夏祭りを願って、盆踊りとビンゴゲーム等を催しました。

天祭では、白装束の行人による初日の朝・夕・晩、2日目の朝と4度に亘る古式ゆかしい祭事が執り行われ、百年以上引き継がれてきた人々の願いと祈りの重みが観る人々の胸に伝わりました。

盆踊り大会、ビンゴゲームともに広場を埋めた人々に夏の夜祭りの楽しさとスリルを味わっていただきました。

今回の天祭の実施にあたり、野尻長坂天祭保存会とお囃子保存会の皆さんの長きに亘る保存活動のご苦勞がつぶさに感じられ、敬服するとともに、今後の活躍を乞い願います。



城山地区市民センターでの 生涯学習事業の様子

「男の厨房」

9月28日～12月14日(計4回)に、「男の厨房」を城山地区市民センターで開催しました。和食のプロ“茶寮やすの”店主、安野耕造さんと中国料理のプロ“宮のものづくり達人”堀内英夫さんの指導を受け、男性受講者15名が、和食と餃子作りに挑戦しました。出来栄えと味には全員満足!

講座内容

- 第1回 寿留メ烏賊素麺、
寿留メ烏賊うろ焼、
加茂茄子と玉子豆腐の揚げ出し
- 第2回 ちらし寿司
- 第3回 吹き寄せ鍋
- 第4回 手作り餃子(チャオズ)

“男も厨房に入るべし”



「美味しいね、今日のも味にコクがあってお父さんの作るカレーは最高だね」家族のお世辞半分のこの言葉に後押しされ、何度も作るうちにレシピを見ないで作れるようになった私のたった一つの料理がカレーライスでした。妻が海外旅行に行く前に手取り足取りで教えてくれた料理です。たかがカレーですが料理の仕方、かくし味の入れ方によって毎回味が違ってきます。私が料理に興味を持ったのは、これがきっかけでした。7年位前のことです。

その後、調理器具のメーカーから「男の料理教室」の案内状が届くので何度か出席してみましたが、仕事の都合で出席できなくなり疎遠になった頃、城山地区市民センターで「男の厨房」が開講されたのを機に申込み、平成17年度で3年になります。

初めのうちは、みんな知らない人ばかりで緊張しており、先生の話聞いても自分の手先のことが精一杯で右から左へ抜ける有様でしたが、回を重ねるうちに、先生にも、生徒の皆さんとも慣れ、和気あいあいのうちにみんな一つのものを作り、テーブルを囲んで一緒にいただく料理は、外では味わうことの出来ない格別のものがあります。先生の話す料理の専門的な言葉も少しずつわかるようになり、自然と要領を得て作る楽しみが更に湧いて来ました。

習ってきた料理を家で作って「おいしいね」の一言が聞きたくて次回は何かと待ち遠しいこの頃です。

平成18年度は、家庭料理を中心としたメニューを予定しているとお聞きしているので、期待しております。

受講生代表 阿部 和之

「子ども友遊塾」



10月29日(土)に今年度3回目の「子ども友遊塾」が城山中学校の体育館を会場に行われました。

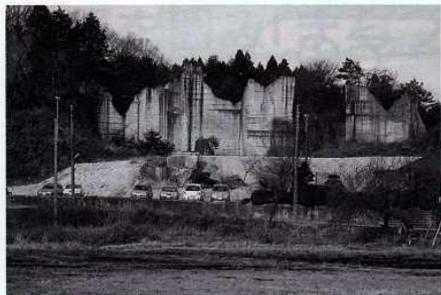
今回は「ドライアイスの不思議」と題して、ドライアイスを使った数々の楽しい化学実験を行いました。今回は、間伐材や流木などを使ってのネイチャークラフト作りや丸太切り体験を、ホンダ技研工業(株)の「環境ワゴン<森の夢工房>」のご協力をいただき、9名の講

師を招いて行われました。

当日は、城山地区の小学生22名が集まり、講師の方々の熱心な指導もあって、ほんの一片の流木などからレーシングカーや家、時計などの模型、机の上に飾るオブジェなど、木のぬくもりを生かした想像力豊かな作品が数々出来上がりました。

この物づくり体験が、木や森の役割を知り、自然の仕組みや環境保全の大切さを学ぶ上で、一つのきっかけになればと思います。





紅葉橋から「ホテル山」を望む

大谷と大谷石(ホテル山)

大谷の大谷石は「大谷観音」とともに、全国的に有名になったのはいつ頃でしょうか。

鎌倉時代に、すでに、坂東の観音霊場33箇所めぐりは988年、花山法皇の時には巡行した記録も残されています。観音信者であった「源頼朝」が各地の豪族に有力な寺院を推挙させ、源実朝のときその寺々を33の札所にまとめたのが始まりとも言われています。

戦国時代の終わり近く、多氣山城は「新・宇都宮城」とよばれていたと氏家明神の日記に書き残されていますが、このころの合戦は毎年一回、五度山城の麓まで小田原の北条方が攻め込んできています。

このときの合戦の様子が具体的に、「大谷口にて防戦…」というふうにも古文書にも記録されていました。一躍有名になったきっかけは、大正12年(1923)の9月1日に発生した関東大震災です。

これがきっかけで鉄筋コンクリート造りの建築がブームになりますが、大谷石を使って建てられた「帝国ホテル」がピクともしなかったということがわかり、大谷石造りの建物が見直されました。その時の大谷石を切り出したところが「ホテル山」といわれています。ここが、その場所であるということも「ホテル山」の名前もだんだん忘れかけています。

宇都宮市文化財解説・観光ガイド 永森 庄二

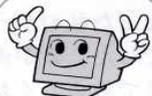


創立130周年と 小規模特認校

城山西小学校

今年、創立130周年を迎えた孝子桜と芭蕉句碑のある本校は、明治8年に児童数35名で創立されました。その後の130年の歴史は、常に地域の方々の「おらが学校」という熱い思いのもとで、学校環境の整備やその時々課題を乗り越えてこられた歴史を持ち、「心と汗」を大切にしている伝統が今日まで受け継がれております。

本年度、創立130周年記念式典では、佐藤肇一宇都宮市長様を始め多くのご来賓をお迎えして、屋外で子どもたちのお筆の発表や創作ダンスの披露、地域農産物の販売、地域の名所めぐりなどを行いました。また、記念事業としては、「名所・旧跡」等の地域案内板の設置や地域案内マップ・「学区の絵葉書」の作成などを行い、地域の魅力化を図りました。学校としては、これを契機に小規模特認校として、特区の「会話科」や文化人の先生方の授業、安全でおいしい給食、放課後活動等をさらに充実して参りたいと考えております。



城山地区ホームページを ご覧ください!

城山地区ホームページを2004年6月に正式に立ち上げてから現在1年半が経過し、アクセス数は現在8,500件になっています。

主として、城山地区の情報を内外に発信しています。

現在7名の委員が中心となり、月1回木曜日午前中2時間程度、城山地区市民センターに集まり、勉強会と更新等を実施しています。

人員と時間的制約がある中での活動は難しい面もありますが、少しでも地域の皆様に役に立つ様にと頑張っております。

写真等の提供及びホームページ委員の希望者がありましたら、城山地区市民センターまでご連絡をください。

今後とも城山地区の情報をタイミング良く地区内外に発信すべく頑張っていきますので、ご協力の程をお願いいたします。

城山地区ホームページ作成委員会委員長
阿部 久

城山地区の人口(平成18年3月現在)

- 総世帯数 8,660世帯 ● 総人口 23,200人
- 男: 11,510人 女: 11,690人



編集・発行

城山地区コミュニティ協議会

〒321-0345 宇都宮市大谷町1059番地5
宇都宮市城山地区市民センター内
TEL 028-652-4794 FAX 028-652-5570

